

妊娠から出産、子育てについて 災害時等の避難所について



柴田 誠
議員

【病児保育施設について】
柴田 天草市には病後児保育はあるが、病児保育は実施できないか。

子育て支援課長 将来は、病児保育の実施を見据え、まずは、取り組みやすい病後児保育から実施している。来年度からは、やまぐち保育園においても、市からの委託を受けて病後児保育事業を予定している。

【ママサポート119(仮称)】

柴田 天草市は広域であるため、救急の場合に消防署への連絡が簡素化できないか。例えば、母子手帳交付時に登録を行い、登録番号を伝えるだけで住所やかかりつけ医がわかれば、妊婦さんの負担軽減や時間の短縮になる。ママサポート119のような体制はできないか。

健康福祉部長 本市において高齢者や障がい者を対象として、緊急時にボタンを押すと直接消防署につながり、位置情報もわかり、すぐに対応できる「緊急通報システム」を運用している。このシステム



の妊婦への利用について、今年度に検討する。

【災害時等の避難所について】

柴田 天草市の避難所には授乳室やおむつ交換の場所は設けられているか。また、パーテーションなどは備えられているか。

総務部長 各地域で指定されている避難所がコミュニティセンターであれば授乳室などの部屋を確保できるが、避難所が体育館などの場合は部屋の確保は難しい状況。施設の調査を行い、使用できる部屋がある施設については既存の部屋を使用し、部屋の確保が困難な施設については、パーテーションを購入し更衣室や授乳室の設置など、女性への配慮やプライバシーの確保についても避難所運営が円滑に行えるように環境整備を進めて行く。

ウイルス性肝炎の重症化予防対策について 幼稚園・小中学校へのエアコン設置を 軽自動車に白ナンバープレートで応援を



赤木 武男
議員

赤木 ウイルス性肝炎は国内最大の感染症と言われ、感染者は全国では約300万人以上。感染時期や自覚症状がないため気付かず肝硬変や肝がんへ移行する場合があります。そのためワクチンで予防することが重要で専門医は、約90%以上が完全治癒できる時代になったと言っている。しかし、国民の約半数が肝炎検査を未受検。肝炎陽性者の約40%は治療されていない。肝炎ウイルス検査の現状について伺う。

健康増進課長 平成28年度の40歳以上の受検者数は802人、妊婦では512人。その内平成24年度から28年度までの5年間で陽性者数は157人。

赤木 平成26年以降に発売された経口剤「インターフェロンフリー」によって治療が劇的に進歩しており、受検促進の環境整備を図る上から無料にすべきではないか。

市長 私は「日本一の健康寿命都市」を掲げ、中学3年生のピロリ菌検査、肝炎対策として5歳未満の幼児に対するB型肝炎予防接種の助成など、県内の自治体に先駆け施策を講じている。肝炎等の重

症化予防を図るため、平成30年度から5年間、未受検者を対象に40歳以上の方を5歳刻みの年齢で無料で肝炎検査を実施する。

赤木 授業の効率化や熱中症対策として、幼稚園や小中学校にエアコンを設置してもらいたい。

市長 市内の小中学校及び公立幼稚園の校長、園長に聞き取り調査を行った。その結果、大多数の意見として空調設備の設置は必要である旨の回答を頂いたため、空調設備の設置については、平成30年、31年度の2カ年度で完了したい。

赤木 軽自動車ナンバーはこれまで黄色だったが、ラグビーワールドカップが、2019年に日本で開催され、この大会を記念して、軽自動車に特別仕様の白いナンバーが交付されている。市としてもワールドカップを盛り上げるために白ナンバーの交付を周知すべきではないか。

市民生活部長 webサービスや天草自動車協会でも受け付けており、8,600円から1万円程度が必要。市政だよりなどで周知したい。

世界遺産登録に向けて・畜産振興について・あまくさ宝の森について



濱洲 大心
議員

【世界遺産登録に向けて】
濱洲 長崎港〜崎津漁港の旅客船の乗客数はどのような状況か。

観光文化部長 7月は1便あたり平均が12・8人であり、8月は11・3人である。1便当たり、20人の乗船があれば燃料代は賄える。
濱洲 崎津集落を含め天草市への観光客を呼び込む仕掛け作りは、観光文化部長 市関係課・観光協会プロジェクトチームを設置している。崎津集落への滞在延長を含め、天草市全体への回遊性を高めるために、観光商品や観光ルートの整備を進めたいと考えている。

【畜産振興について】
濱洲 現在、年間17億円を超える販売額がある家畜市場の存続と畜産農家への支援として産業界の確保が必要と考えるが、現在の状況と奨学金について伺う。

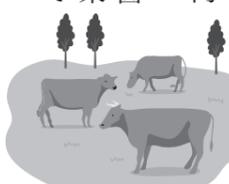
経済部長 天草管内には現在3名の産業獣医がいる。高齢化はしているが、すぐにでも増やしてほしい、との状況ではないと伺っている。今後は、畜産農協や家畜衛生保健所等と連携を密にして対策を講じる。奨学金については、国・県において貸与制度がある。国立

大で月額10万円、私立大で12万円となっている。
【あまくさ宝の森、整備事業について】
濱洲 佐伊津町〜五和町に建設予定だったゴルフ場予定地跡地において、現在約6,400万円の財産があるが、この財源で整備が完了しない場合、新たに天草市は予算を組むのか。

地域振興部長 整備資金の不足分を市が新たに予算を組む考えはない。現在の資金で整備できるように考えている。

濱洲 畜産農家の方から、一部を放牧地として貸し出して頂けないかと相談があったが、可能であるのか。

地域振興部長 昨年10月に畜産農協より要望書が提出されている。放牧地帯として景観の向上も図られ、後継者対策や新規就農者の確保にもつながると思われているので前向きに進めて行く。現在は借入希望箇所の確認や貸付条件の整理を行っている。



三県架橋について・天草観光の一端を担う旅館業の活性化対策について



浜崎 昭臣
議員

【三県架橋について】
浜崎 「三県架橋」の進捗状況、実現の可能性、着工時期、予定総事業費、予定ルート等現状の見通しをお尋ねする。

市長 平成7〜19年度までの13年間、国の直轄事業として調査が行われた。6つの海峡横断プロジェクト全体で、総額66億円の調査事業費が投じられた。しかし平成20年3月以降、国の調査は実施されていない。着工時期、予定総事業費、予定ルート等はいまだ公表等がない。

浜崎 八代港への大型クルーズ船を考えると相当の高さになるがトンネルの可能性もあるか。

市長 半分が橋梁で半分がトンネルという組み合わせなど、様々な工法等、国において検討されると思う。

浜崎 ルート、入込数、経済波及効果の試算もなされていない現状では三県架橋の実現は厳しいと危惧する。新たな視点と角度から検証をやりなす為のプロジェクトチームの編成を強く要望する。

【崎津漁港〜長崎港 高速船「びっくあーす」について】
浜崎 乗船人数があまりにも少ない。「びっくあーす」観光利用者に期間限定でもいいので市からの補助金等の考えはないか。

観光文化部長 今議会に補正予算をお願いした。旅行商品造成を天草宝島観光協会に委託する。

【旅館業の活性化対策について】
浜崎 時限立法でもいいので固定資産税の減免は出来ないか。

市長 宿泊施設の減免はできないと考えている。
浜崎 宿泊業者の活性化対策イコール天草全体の発展に直結すると信じる。宿泊施設の位置付けをどこに置かかだと思ふ。外貨を稼ぐ宿泊施設の経済効果は大である。新たな借り入れでなく、減免から奮起を促したいというのが質問の主旨。また、NHKテレビ受信料を一般世帯と事業所の割引を同じ土俵で比較すべきでないと思う。固定観念を捨てこの両問題を今後取り組んで頂くよう要望する。